

教科	芸術		科目	音楽 I	単位数	2
学年	1年（音楽選択生）		類型	流通経済科・情報ビジネス科・地域ビジネス科・商業科		
教科書（出版社）	高校生の音楽 1（教育芸術社）					
副教材（出版社）						
授業の概要	表現活動（歌唱・器楽・創作）、鑑賞、音楽理論の3つの分野において、基礎的な知識・技能を習得する。					
授業の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱、器楽等の表現活動を通して、感性を高め、豊かで創造的な表現の能力を伸長する。 ・多様な音楽への興味・関心を深め、音楽を愛好する心情を育てる。 					
年間 学習 計画		学習内容（単元・項目）		学習目標		
	1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・独唱曲 校歌、日本歌曲、応援歌、ドイツリート、イタリア歌曲 ・合唱曲 二部合唱、混声三部合唱 		<ul style="list-style-type: none"> ・歌うことの楽しさを感じ、積極的に表現活動に取り組む。 ・詩の内容を理解し、音楽の構成や曲想との関係を感じながら歌唱表現する。 ・合唱の楽しさを知り、互いに協調し合って音楽を作り上げる。 ・各パートの特徴や役割を理解して表現の工夫をする。 		
	2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・西洋音楽史と鑑賞 ・器楽曲（リコーダー） ・創作（リズム・アンサンブル） 		<ul style="list-style-type: none"> ・楽曲の文化的・歴史的背景や、各時代における音楽の様式の特徴を理解して音楽を鑑賞する。 ・楽曲の構成や音楽の要素を理解し、その良さを味わう。 ・リコーダーの基本的な奏法を習得する。 ・互いに協力し合って、調和の取れたアンサンブル活動を行う。 ・音楽の基礎知識を身に付け、曲を創作する。 		
	3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の伝統音楽 ・世界の民族音楽 		<ul style="list-style-type: none"> ・日本の伝統音楽や民謡に触れ、日本の文化に対する理解を深める。 ・さまざまな国や地域の音楽に興味関心を持ち、理解を深める。 ・芸術における価値観の多様性を理解する。 		
観点別 評価	音楽への関心・意欲・表現		音楽表現の創意工夫		音楽表現の技能	
	音楽や音楽文化に関心を持ち、歌唱、器楽、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとしている。		音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、曲想を楽曲の背景と関わらせて感じ取ったり、様々な表現形態による特徴を生かしたりして、どのように演奏するかについて表現意図を持って音楽表現を工夫している。		創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付け、創造的に表現している。	
備考	3つの観点に基づき、学期ごとに100点法で評価し、学年末には各学期の評価を平均し、総合的に評価する。					

教科	芸術		科目	書道 I	単位数	2
学年	1年(書道選択生)		類型	流通経済科・情報ビジネス科・地域ビジネス科・商業科		
教科書(出版社)	新編 書道 I (教育出版)					
副教材(出版社)						
授業の概要	漢字の書、仮名の書、漢字仮名交じりの書に関する表現や鑑賞活動を通して、書の基本的な実技能力と取り組み方を養成する。					
授業の目標	書道の幅広い活動を通して、書を愛好する心情を育てるとともに、感性を豊かにし、書写能力を高め、表現と鑑賞の基礎的能力を伸ばす。					
年間 学習 計画	学習内容(単元・項目)			学習目標		
	1 学期	1 書写から書道へ 2 楷書 3 行書		1 書写と書道の違いを理解する。 2 楷書の基本点画、線質の表し方、用筆法、運筆法を学ぶ。 1 基本的な用筆、字形を学習する。 2 特徴ある運筆のリズムを学習する。		
	2 学期	4 篆書・隸書 5 篆刻 6 仮名		1 逆筆・蔵鋒を学習する。 2 代表的な古典を臨書、鑑賞し特徴を学習する。 1 落款印と刻法を学習し、鑑賞する。 1 仮名の成立と変遷を学ぶ。 2 仮名の基礎を学ぶことにより、流動美、紙面構成を学習する。		
	3 学期	7 漢字仮名交じりの書 8 生活の中の書		1 自らの思考や感動を表現できる語句を選び、漢字や仮名の特徴を理解し、用具、用材や形式、構成などの表現方法を工夫し、作品を制作する。 1 基本的な手紙の書き方を学習し、実生活に活かせるようにする。		
観 点 別 評 価	書への関心・意欲・表現	書表現の構想と工夫		創造的な書表現の技能		鑑賞の能力
	漢字や仮名の書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。		創造的な書表現をするために、漢字や仮名の基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付け表している。		日常生活の書の効用、書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
備 考	4つの観点に基づき、学期ごとに100点法で評価し、学年末には各学期の評価を平均し、総合的に評価する。					